

【1】新市場販路開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額:49,202,400円
(その他補助金9,635,000円、市負担金収入31,653,400円、事業収入3,690,000円、前年度繰越金4,224,000円)
- 支出決算額:47,739,358円

2 事業の成果

- **受注促進・販路開拓支援事業:** 県外企業を中心に訪問し個々のニーズへのきめ細かな対応を行った結果、引き合い件数559件のうち69件(約12.3%)が成約につながった。各種部品の機械加工と複合加工技術による各種工業製品の製造が高い比率を占めており、製造から表面処理を含む完成品までの対応が求められた。
- **技術系展示会出展事業:** 機械要素技術展(東京、大阪)、インターフェックス(東京)の3つの展示会に出展し、35件が成約につながり金額にして約8,200万円の受注を獲得できた。
- **地域デザイン力発信事業:** グッドデザイン エキシビション 2013に出展し、多くの受賞数を誇る当地域のデザイン性の高さをPR及び地域情報の発信を行った。
- **海外展開支援事業:** 全国各地の6地方自治体と共同で、駐在員1名が常駐する事務所をシンガポールに開設した。共同事務所を拠点として、燕三条地域商品の東南アジアでの販路開拓につながるため、商談会の開催、見本市(メゾン・エ・オブジェ・アジア)への出展、市場調査、調査ミッションを行った。併せて当地域への観光誘客などの活動を行った。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業 (担当: 企業支援課)

(収入決算額:5,906,000円、支出決算額:5,730,064円)

- ① 地域企業への新規受注獲得のため、県外企業を中心に地域のものづくり技術力をPRした。
- ② 新聞などで報道された業績好調な金型部品メーカー、小型家電メーカー、装飾品メーカーなどを訪問して燕三条地域企業のPRを行った。また、地域企業と一緒に航空機産業のメーカー、動物用医療機器のメーカーなどを直接訪問し、商談を行った。
- ③ 産業振興部登録企業約500社を対象に、最近の受注動向や技術・商品開発情報などをFAXで配信(リサーチコア通信、全9回発行)
- ④ 情報配信用データベースの顧客情報を整備し、地域外企業に対して燕三条地域の加工技術PR用リーフレットを送信した。送信先の地域外企業から照会のあった案件に対して順次対応し、継続的な引き合いにつなげるためのフォローアップ活動を行った。

(単位:件)

	受 注 幹 旋				引 合 件 数 小 計	各 種 談 相
	成 約	見 積 中 見 検 討	対 応 企 業 紹 介	不 成 約		
H25年度	69	40	438	12	559	117
H24年度	56	48	469	16	589	149
H23年度	44	72	447	27	590	179

◆ 引き合いの主な分野

- (1)機械加工(83件 14.0%)、(2)表面処理(75件 12.7%)、(3)工業製品の製造対応(44件 7.4%)

◆ 成約の主な分野

(1)機械加工(18件 26.1%)、(2)工業製品の製造対応(9件 13.0%)、(3)表面処理(7件 10.1%)
 (4)プレス加工(6件 8.7%)、(5)生活関連商品の製造(6件 8.7%)などの順である。

◆ 受発注打合せ件数

(単位:件)

	地域内 (市内) 企業訪問	地域外 (県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室 打合せ	県外企業 来室 打合せ
H25年度	770	28	134	175	164
H24年度	675	20	113	174	165
H23年度	663	29	127	191	138

(2) 技術系展示会出展事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:18,754,600円、支出決算額:18,252,921円)

- ① 大都市圏で開催された展示会に地域企業と共同出展し、地域の特徴的な加工部品・新商品等を展示PRし、会期中並びに会期後のフォローアップ活動により新規受注開拓を行った。

名称(会場)	開催期間 (共同出展 数)	来場者数 (H24参考) (H23参考)	引合件数 (H24参考) (H23参考)	成約件数 (H24参考) (H23参考)
第17回機械要素技術展 (東京ビッグサイト)	H25.6/19-21 (23社)	87,760人 (86,325人) (84,509人)	251件 (166)〈23社〉 (149)〈25社〉	26件 (9)〈23社〉 (12)〈25社〉
インターフェックス (東京ビッグサイト)	H25.7/10-12 (単独)	32,762人 (-) (-)	16件 (-) (-)	0件 (-) (-)
第16回関西機械要素技術展 (インテックス大阪)	H25.10/2-4 (7社)	39,972人 (34,778人) (32,106人)	91件 (99)〈9社〉 (83)〈5社〉	9件 (2)〈9社〉 (3)〈5社〉

(※引き合い件数:試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計)

- ② 機械要素技術展と関西機械要素技術展への共同出展では、それぞれの展示会に外部アドバイザー1名を委嘱し、共同出展企業を対象に来場者の目に留まるような展示方法やアテンドの方法などについて指導してもらい、効果的な出展を行った。

(3) 地域デザイン力発信事業(担当:デザイン企画課)

(収入決算額:3,404,600円、支出決算額:3,363,994円)

- ① デザイン評価制度取組支援

◆ グッドデザイン応募説明会

- ・開催日:平成25年5月17日(金)
- ・講師:公益財団法人日本デザイン振興会 事業部課長代理 川口 真沙美氏
- ・特別講演:(株)廣村デザイン事務所 代表 廣村 正彰氏
- ・参加者:36人(30社)

◆ グッドデザイン二次審査会の開催(全国初の地方開催)

- ・平成25年8月29日(木)

② 「グッドデザインエキシビション 2013」への出展

- ・ 会 期：平成 25 年 10 月 30 日～11 月 4 日
- ・ 会 場：東京ミッドタウン
- ・ 出展社数：9 社 13 点、 来場者数:299,000 人

③ デザインギャラリーの運用

- ・ 燕三条地域の海外戦略ブランド商品 (TSUBAMESANJO、SANJOJAPAN、enn、百年物語)、燕デザインコンテスト受賞品、グッドデザイン賞受賞品の常設展示

(4) 海外展開支援事業 (担当：企業支援課)

(収入決算額:21,137,200 円、支出決算額 20,392,379 円)

① 海外展開推進会議

- ◆ 第 1 回 平成 25 年 9 月 27 日(金) 14:00～
- ◆ 第 2 回 平成 25 年 10 月 31 日(木) 14:00～

② 海外展開に関する専門セミナー等の開催

- ◆ 「ものづくり中小企業の海外市場参入と国際化戦略」
 - ・ 日 時：平成 25 年 9 月 19 日 (木) 14:15～15:15
 - ・ 講 師：東京経済大学 専任講師 山本 聡 氏
 - ・ 参加者：30 人 (28 社)
- ◆ 「インターネットから始める中堅・中小企業の海外市場開拓」
 - ・ 日 時：平成 25 年 10 月 16 日 (水) 14:00～16:00
 - ・ 講 師：アリババ株式会社 代表取締役社長 香山 誠 氏
 - ・ 受講者数：68 人 (60 社)
- ◆ 「世界の潮流と日本企業の進むべき方向性」
 - ・ 日 時：平成 25 年 11 月 15 日 (金) 15:00～16:30
 - ・ 講 師：世界経済研究協会 常任理事 高 寛 氏
 - ・ 受講者数：27 人 (25 社)
- ◆ 「熱帯の先進国シンガポール」
 - ・ 日時：平成 26 年 2 月 21 日(金) 14:00～15:30
 - ・ 講師：元セイコー精機(株) 代表取締役社長 山田 章 氏
 - ・ 受講者数：16 人 (16 社)

③ 展示会への出展

- ◆ 「メゾン・エ・オブジェ」(フランス・パリ)
 - ・ 会 期：平成 25 年 9 月 6 日(金)～10 日(火) (5 日間)
 - ・ 会 場：ノールヴィルパント見本市会場 (ホール 3)
 - ・ 来場者数：69,048 人
 - ・ 出展規模：3,281 社
 - ・ 商品展示：15 社 75 アイテム
 - ・ 引合相談件数：41 件
 - ・ 成約件数：8 件
- ◆ 「METALEX2013」(タイ・バンコク)
 - ・ 会 期：平成 25 年 11 月 20 日(水)～23 日(土) (4 日間)
 - ・ 会 場：BITEC
 - ・ 来場者数：70,837 人

- ・ 出展規模：2,700 社
- ・ 共同出展：3 社
- ・ 引合相談件数：187 件

◆「メゾン・エ・オブジェ・アジア」(シンガポール)

- ・ 会 期：平成 26 年 3 月 10 日(月)～13 日(木) (4 日間)
- ・ 会 場： マリーナベイサンズコンベンションセンター
- ・ 来場者数：10,364 人
- ・ 出展規模：272 社
- ・ 商品展示：17 社 100 アイテム
- ・ 引合相談件数：122 件
- ・ 成約件数：10 件

◆「エコプロダクツ国際展」(台湾・台北市)

- ・ 会 期：平成 26 年 3 月 13 日(木)～16 日(日) (4 日間)
- ・ 会 場：台北世界貿易センター
- ・ 来場者数：17,483 人
- ・ 出展規模：207 社
- ・ 商品展示：12 社 25 アイテム
- ・ 引合相談件数：52 件

④ 海外情報拠点づくり

全国各地の 6 自治体と共同で東南アジア諸国での市場開拓や将来的な販路拡大を目的に、情報収集の拠点としてシンガポールに駐在員 1 名が常駐する事務所を開設した。

- ・ 参加自治体等：
佐賀県武雄市、鹿児島県薩摩川内市、富山県南砺市、福岡県鞍手町、福岡県大刀洗町、香川県宇多津町、(一財)燕三条地場産業振興センター
- ・ 開設日：平成 25 年 10 月 25 日(金)運営協議会設立総会及び開所式、展示商談会等。
- ・ 設置場所：レンタルオフィス「クロスコープ・シンガポール」
(所在地：80 Robinson Road #10-01A Singapore 068898)
- ・ 現地駐在員：笠原 雄人 氏

⑤ 市場調査ミッション

シンガポールで初めて開催された世界最高峰のインテリア&デザイン関連の見本市(メゾン・エ・オブジェ・アジア)の視察、並びに現地の産業支援機関や日本の大手企業の現地法人を訪問し、燕三条地域商品の東南アジアでの市場開拓の可能性を探った。

- ・ 日 程：平成 26 年 3 月 9 日(日)～12 日(水) (4 日間)
- ・ 訪問先：シンガポール日本商工会議所、日本貿易振興機構シンガポールセンター、展示会
(メゾン・エ・オブジェ・アジア)、シンガポール共同事務所、Seiko Instruments
Singapore Pte. Ltd
- ・ 参加者：8 人(海外展開推進会議委員及び事務局 他)

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

- 収入決算額:45,338,942円
(国受託事業収入27,239,364円、その他補助金収入600,000円、
市負担金収入12,605,753円、事業収入4,893,825円)
- 支出決算額:44,317,391円

2 事業の成果

- **試作・小ロット品対応力強化プロジェクト事業:**地域企業 14 社で「第 4 回試作市場 2013」(東京都)及び高圧討論会(新潟市)などへの出展や、県内大学での各社の得意技術を駆使した試作品の展示紹介を行い、実験機器の部品加工等の依頼を受けた。また、3D プリンターを導入し地域企業からの開発品の試作に対応した。
- **産学連携共同研究開発事業:**要素技術の高度化、技能継承、成長産業分野参入の情報調査を目的に、6 テーマの研究会を実施した。(参加者 58 人)
- **技術開発総合支援事業:**地域企業からの技術・知財等各種相談に対し、当センター担当職員と外部の専門家が課題解決に当たった。(延べ 93 件・69 社)また、機械装置及び測定機器等の利用件数は 391 件あり、機器利用説明会(5回)には 36 人(32 社)の参加があった。本年度導入の 3D プリンターはデモンストレーションを 133 人(46 社)、試作評価を 89 回実施した。
- **デザイン開発力強化事業:**商品企画やデザインに関する相談に対し当センター担当職員と外部の専門家が課題解決に当たった。(31 件・24 社)また、リ・デザインエキシビション 2014 を開催し、商品パッケージのデザインコンペティションを行った。(3テーマ:デザイン提案 55 点)海外デザイン賞に関するセミナーの開催や地域デザイン団体の活動支援を行った。
- **生活デザイン産業創出事業:**趣味空間を作り出すアイテム開発をテーマにワークショップを開催(参加者 7 人 9 回開催)、関連イベントへの出展などを行った。
- **燕三条ものづくり連携フォーラム開催事業:**技術高度化や新規開発を目的に県外企業等と交流するための展示会を開催した。併せて講演会・セミナー・イベントなども開催した。
(出展社:56 社・団体 来場者 1,327 人)

3 実施事業

(1) 試作・小ロット品対応力強化プロジェクト事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:1,556,600 円、支出決算額:1,547,260 円)

プロジェクト企業が連携し、開発要素の高い小ロット品や試作開発品に焦点を絞り受注活動を進めた。

- ・ 期間(回数):平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
- ・ 指導者:ビジネスコーディネーター 小林 貞夫 氏(中小企業診断士)
- ・ 参加者:14 人(14 社)
- ・ 活動内容:
 - 研究会(8回)、第4回試作市場 2013 出展(東京都大田区)、県内大学他ミニ展示会出展(3回)
- ・ 第4回試作市場 2013 出展成果
 - 引合相談件数 48 件
 - 見積依頼件数 22 件
 - 成約件数 2 件

(2) 産学連携共同研究開発事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:4,824,627 円、支出決算額:4,677,840 円)

① 刃先形状測定装置開発技術研究会

各種刃物の刃先形状の定量評価法を研究し、現場で使用できる簡易装置への適用を進めた。会員企業の製品を対象に刃先形状の評価を行い、刃先形状の図示化と簡易測定装置の開発を行った。

- ・ 期間:平成 25 年 7 月～平成 26 年 3 月(研究会 4 回)
- ・ 指導者:長岡技術科学大学 機械系 教授 柳 和久 氏
- ・ 参加者:17 人(13 社)

② 航空機産業参入研究会

航空会社との連携を目的に、航空機のスクラップ部品を用いたインテリア製品やアクセサリ等の新規提案を進めた。併せて指導者の企業が開発している米国向けレジャー用航空機の製作に参画し開発を進めた。

- ・ 期間:平成 25 年 6 月～平成 26 年 3 月(研究会 6 回)
- ・ 指導者:(株)ATR ヤマト 代表取締役 吉田 宗玄 氏
- ・ 参加名:8 人(8 社)

③ 高度バリ取り技術研究会

バリ取り技術を当地域の核技術とすることを目的に、セミナーを通して機械加工や板金加工でのバリ発生メカニズムの理解を深め、各種ブラシやバフなどを用いたバリ取り活用技術の習得を進めた。

- ・ 期間:平成 H25 年 6 月～平成 26 年 3 月(研究会 6 回)
- ・ 指導者:関西大学 名誉教授 北嶋 弘一 氏
- ・ 参加者:9 人(9 社)

④ 新技術・新材料研究会

当地域企業で活用できる新技術や新材料についての情報を提供し、地域企業が新分野に参入するための研究会を開催した。新技術では再生可能エネルギー、3D プリンター、新材料ではハイテン材、チタン、マグネシウム合金などを取り上げた技術セミナーを開催した。

- ・ 期間(回数):平成 25 年 9 月～平成 26 年 3 月(研究会 10 回)
- ・ 指導者:長岡技術科学大学 機械系 教授 永澤 茂 氏
- ・ 参加名:12 人(12 社)

⑤ 品質工学活用研究会

企業の開発効率を高めるため、品質工学(タグチメソッド)による技術開発法と大学が開発した専用ソフトを使用して品質工学の基礎と活用方法の習得のための課題演習を行った。

- ・ 期間(回数):平成 25 年 7 月～平成 26 年 3 月(研究会 10 回)
- ・ 指導者:長岡技術科学大学 機械系 教授 田辺 郁男 氏
- ・ 参加名:8 人(8 社)

⑥ コバルトクロム合金応用研究会

岩手県で開発されたニッケルフリーコバルトクロム合金を用い、高能機刃物、産業用機械部品、民生品の用途開発を進めた。剪定鋏、機械部品、鍛造部品を試作し、鍛造や切削加工の特性評価、摩耗試験による機能評価を行った。

- ・ 期間(回数):平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月(試作及び評価試験 12 回)
- ・ 参加者:4 人(4 社)

⑦ 燕三条ものづくり将来ビジョン調査報告書の作成

- ・ 委託先:アップストリーム 代表 角田光則 氏(中小企業診断士)
- ・ 報告会:平成 26 年 4 月中旬(予定)

⑧ 長岡技術科学大学との包括的連携協定の締結

◆ 調印式

- ・ 日 時:平成 25 年 8 月 5 日(月)13:30～14:00
- ・ 会 場:燕三条地場産業振興センター(メッセピア)4 階 特別会議室
- ・ 出席者:8 人(大学側 4 人、地場産センター側 4 人)

◆ 特別講演会(長岡技術科学大学 技術経営研究科システム安全系との共催)

- ・ テーマ:新技術開発と安全規格
- ・ 日 時:平成 25 年 8 月 5 日(月)14:00～15:30
- ・ 会 場:燕三条地場産業振興センター(メッセピア)5 階 総合研修室①
- ・ 講 師:長岡技術科学大学技術経営研究科 システム安全専攻 教授 阿部雅二郎氏 他 2
- ・ 参加者:30 人(25 社)

(3) 技術開発総合支援事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:2,793,225 円、支出決算額:2,402,349 円)

① 知的所有権相談事業

当地域の産業に精通した弁理士から特許や実用新案、意匠などの知的所有権を活用するため、月 1 回の個別相談会を実施した。意匠や実用新案などの出願 10 件、登録 7 件の実績を得た。

- ・ 指導者:ジーベック国際特許事務所 弁理士 小松 悠有子 氏 相談件数:36 件(24 社)

② 相談きっかけ支援

地域企業の技術開発、生産管理や知財についての課題を解決するため、専門家を直接企業に派遣し課題解決に向けてのアドバイスをを行った。指導者:7 人(派遣企業:7 社)

③ 技術相談

当地域企業が抱える材料、表面処理、溶接及びプレス加工などの課題について、当センター技術職員がアドバイスをを行い、課題解決策を提案した。相談件数:50 件(38 社)

④ 機器利用促進

当センター所有の機械装置や測定機器の利用促進を図るため、機器利用説明会を 5 回実施し、36 人(32 社)の新規利用があった。また、本年度導入の 3D プリンターでは 133 人(46 社)に対してデモンストレーションを行い、そのうち試作評価を 89 回(19 社)実施した。

【機械設備利用状況】

(単位:件)

名 称	H25 年度	H24 年度	H23 年度
3D測定レーザー顕微鏡	30	38	-
多関節型 3 次元デジタイザー	22	4	16
蛍光X線分析装置	53	55	25
走査型電子顕微鏡	17	30	21
レーザーマーカ	134	100	64
デジタルマイクロスコープ	4	14	11
3 次元デジタイジング装置	10	11	11
FEM シミュレーションシステム	0	3	1
3 次元デザイン CAD システム	28	14	19
高速度デジタルビデオカメラ	5	4	6

万能塑性加工試験機	3	13	13
HIP 装置(熱間等方加圧装置)	85	112	101
合 計	391	398	288

(4) デザイン開発力強化事業(担当:デザイン企画課)

(収入決算額:2,798,800 円、支出決算額 2,719,842 円)

① 商品企画・デザイン開発個別相談の実施

地域企業の新商品企画、デザイン開発に対する個別相談にセンター専門職員が対応、内容によりデザイナーとのマッチングを行った。相談件数:31 件・44 回(24 社)

② リ・デザインエキシビション 2014 の開催

県内デザイン 5 団体との協力による、コンペ形式のビジネスマッチングイベントを行った。商品のパッケージなど、ビジュアルデザインを見直したい地域企業を公募し、それに対してデザイナーがリ・デザイン提案を行った。また、成果についてメッセピア・燕三条 Wing で展示をし人気投票を行った。

- ・ 対象テーマ:お米パッケージ、カップデザートパッケージ、ピルケースパッケージ(3 社 3 テーマ)
- ・ 投票期間:平成 26 年 2 月 19 日(水)~3 月 4 日(火)
- ・ 参加デザイナー:35 人(デザイン提案 55 点)
- ・ 投票者数:459 人
- ・ 表彰式:平成 26 年 3 月 17 日(月)16:30~

③ 海外展開セミナーの開催

『海外で売る為のものづくりと海外デザイン賞』

- ・ 開催日:平成 25 年 7 月 30 日(火)16:00~18:00
- ・ 会 場:燕三条地場産業振興センター(リサーチコア)7 階マルチメディアホール
- ・ 講 師:Sa・Su Network GmbH 代表取締役社長 鈴木 里美 氏
- ・ 参加者:71 人

④ 地域デザイン団体活動支援

- ・ 燕三条デザイン研究会(会員:63 名、全体例会 7 回、グループ例会 23 回)
- ・ つばめデザイン研究会(会員:7 名、全体例会 2 回)

(5) 生活デザイン産業創出事業(担当:デザイン企画課)

(収入決算額:3,651,126 円、支出決算額:3,565,736 円)

既存建物を傷めず容易に設置可能なフレームに、多様な専用アイテムを取り付けることにより様々な趣味の空間を創り出すことができる商品群の開発をテーマにワークショップを行い、新たな暮らしの提案で市場を作り出すアイテムの試作開発を行った。

① 事業説明会

- ・ 開催日:平成 25 年 6 月 3 日(月)
- ・ 参加者:45 人(40 社)

② ワークショップ開催

昨年度に試作したフレームに取り付けるアイテム 7 点の開発、試作モデルの作成を行った。

- ・ 期 間(回数):平成 25 年 7 月 6 日(土)~平成 26 年 2 月 17 日(水)(全 9 回)
- ・ 指導者:(株)クルー 代表 馬場 了 氏、レガート知財事務所 弁理士 峯 唯夫 氏
- ・ 参加者:7 人(7 社)

③ 関連イベントへの出展

「Kawasaki ミーティング」への試作品展示を行った。

- ・ 開催日:平成 25 年 7 月 28 日(日)
- ・ 会 場:国営明石海峡公園(兵庫県淡路市)
- ・ 参加者:2,000 名
- ・ 引合相談件数:40 件
- ・ その他:「カワサキバイクマガジン」(11 月号 榊ぶんか社発行)に記事掲載

(6) 燕三条ものづくり連携フォーラム開催事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:2,475,200 円、支出決算額:2,340,950 円)

燕三条地域企業が国内外の先進的技術や設備に触れ、技術の高度化や新しい開発のヒントを得るため、「燕三条ものづくり連携フォーラム」を開催した。

3 企業による 3D プリンターの展示を含む 56 団体の展示とともに、8 つのセミナー・講演会などを開催し、新技術導入のきっかけづくりを行った。

- ・ 会 期:平成 25 年 9 月 19 日(木)～20 日(金)
- ・ 出展者:56 社・団体
- ・ 来場者:1,327 名 (9 月 19 日:415 名、9 月 20 日:912 名)
- ・ 講習会、セミナー聴講者:273 名(バリ取り、海外展開、新技術、新材料に関する 8 セミナー)
- ・ 併設イベント:全日本製造業コマ大戦燕三条特別大会 規程部門、デザイン部門
- ・ 引合い件数:532 件(展示会終了時のアンケート結果による)
- ・ 成約件数:4 件(仕上げ工具、バリ取り自動化、ブラックコーティングなど)

(7) 戦略的基盤技術高度化支援事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:27,239,364 円、支出決算額:27,063,414 円)

ケイセイエンジニアリング(株)が法認定事業者、地場産センターが事業管理機関として実施する『生体適合性プラスチック材料を用いた革新的医療用縫合針の研究開発』において、研究開発推進委員会を年 3 回開催し、研究開発実施機関 7 社及びアドバイザーとともに研究開発の進捗管理を行った。

3 年計画(予定)の 2 年目となる平成 25 年度は、生体適合性プラスチック縫合針の開発に向け試作設備と試験設備を導入し、材料選定及び試作を行った。

【3】燕三条ブランド推進事業

1 収支決算額

- 収入決算額:25,857,338円
(国庫補助金4,923,672円、その他補助金4,334,000円、市負担金16,494,666円、事業収入105,000円)
- 支出決算額:24,476,783円

2 事業の成果

- **プライドプロジェクト支援事業:**「畑の朝カフェ」事業ではプライドプロジェクトメンバーを中心にした実行委員会をともにイベントの企画、実施に参画した。この取り組みはグッドデザイン賞を受賞、グッドデザイン・ベスト 100 にも選ばれた。また、地域情報を発信する書き込み情報サイト「燕三条 wiki」の利用促進と、「ものづくりのまち燕三条」のPRを図るため、同サイトへの書き込みをベースに「燕三条職人のことば集 こうばのじてん(工場の辞典)」を作成した。
- **産業観光推進事業:**“燕三条ものづくりの心に出会う「まちあるき」”をテーマとした様々な体験、観賞、食などのプログラムを集めたイベントの企画、調整を行い実施した。
- **燕三条 Wing 運営事業:**情報発信拠点である燕三条 Wing において各種のイベントを行った。
- **燕三条ブランド販路開拓事業:**有名デザイナーのデザインを基に鋳起銅器により水差しの試作品を完成させた。また、国内外の展示会へ出展し、燕三条ブランドのPRや販路開拓に努めた。
 - ・ 東京インターナショナル・ギフト・ショー 春 2014
 - ・ FOODEXJAPAN 2014
 - ・ アンビエンテ・メッセ・フランクフルト 2014

3 実施事業

(1) 燕三条プライドプロジェクト支援事業

(収入決算額:2,118,200 円、支出決算額:2,080,381 円)

① 燕三条ブランド推進会議の開催

燕三条地域の商工会議所、商工会、観光協会などの代表や役員等で委員会を組織し、燕三条ブランドの事業案及びブランドマーク使用の認証について検討・承認を行った。

開催日	協議題
第1回 平成 25 年8月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度燕三条ブランド事業計画(案)について ・燕三条ブランドマーク使用の認証について
第2回 平成 26 年1月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度燕三条ブランド事業の進捗について ・各種見本市への出展について ・燕三条ブランドマーク使用の認証について

② 燕三条プライドプロジェクト会議の開催

プロダクト、レストラン、ツーリズム、プロモーションの各グループリーダー等が中心となって燕三条ブランド確立に向けて協議を行った。

グループ名	会議開催数(回)
プロダクトグループ	4
レストラングループ	18
ツーリズムグループ	15
プロモーショングループ	9

③ 燕三条の農産品加工品 PR

「料理王国100選 2014」に応募し、2アイテムが選出された。

- ・ 新興梨とル レクチエの濃厚ジュース
- ・ 黒無花果(ビオレソリエス)

④ 「畑の朝カフェ」がグッドデザイン賞を受賞するとともに、グッドデザイン・ベスト 100 にも選ばれた。

⑤ 燕三条エフエム放送・燕三条 wiki によるブランド PR や地域情報の発信ブランド事業の活動状況や各種情報を発信するため、燕三条エフエム放送で月1回(平成 25 年度計 12 回)、燕三条ブランド通信を放送した。

また、燕三条の地域情報及び、地域内での情報共有を目的として燕三条 wiki の運営を行った。燕三条 wiki のホームページへは約 135,000 件/年のアクセスがあった。

⑥ 燕三条「畑の朝カフェ」によるブランドコミュニケーション事業

食の宝庫である燕三条地域の生産現場と生産者の魅力を十分に知っていただくため、体験型カフェ「畑の朝カフェ」の開催を支援した。

- ・ 開催回数 : 6回
- ・ 参加者 : 227 人

(2) 産業観光推進事業

(収入決算額:2,769,600 円、支出決算額:2,758,183 円)

① 燕三条まちあるき

プライドプロジェクトツーリズムグループでまちあるきイベントを主催し、地域を愛するナビゲーターを通じて地域の魅力を再認識できるコースを企画実施した。

◆ 2013 春

- ・ 開催期間:平成 25 年4月6日(土)~5月 26 日(日)
- ・ コース数:19 コース
- ・ 参加人数:345 人

◆ 2013 秋

- ・ 開催期間:平成 25 年 10 月5日(土)~11 月 23 日(土)
- ・ コース数:23 コース
- ・ 参加人数:238 人

② 燕三条グリーンツーリズム事業の推進

燕三条をフィールドに自然体験等の活動に取り組んでいる団体の発掘を行い、各団体のイベント等を集約したパンフレットを製作して県内公共施設及び燕三条地域の全小学校(39 校)児童等に配布した。

- ・ 16 団体、24 イベント、20,000 部

(3) 燕三条Wing運営事業

(収入決算額:2,727,400 円、支出決算額:2,356,463 円)

① 燕三条 Wing の情報発信機能の充実

観光コンシェルジュとして、燕三条を訪れた観光客やビジネスマンを始めとする来訪者からの相談や照会に対して、観光スポットや観光コースなどの提案を行った。

* 月別対応件数

(単位:件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
H25	70	96	80	61	91	68	88	61	46	30	39	35	765
H24	29	71	76	49	71	77	54	63	36	56	65	70	717

② 燕三条地域のイベント情報の集約と発信

燕三条及び周辺地域で行われる季節ごとのイベント情報を一元的に集約し、当センターのホームページ「燕三条夢創紀行」及び燕三条Wingのフェイスブックを活用して、旬の情報を発信した。

③ 燕三条 Wing イベントの実施

燕三条ブランドの発信拠点である燕三条Wingへの誘客・認知の向上等を目的に、毎月イベントを開催した。また工場の祭典などを始めとする地域イベントなどと連動する企画も行い、誘客を図るとともに、連動イベントのPRにもつながった。

開催月	事業内容	参加者等
6月	パン切り包丁体験教室	34人
7月	あんどん作り体験教室	14組
8月	木工箸づくり体験教室	29人
9月	「利きカレー大会」&「レトルトカレー総選挙」	69人
10月	燕三条工場の祭典 企業めぐりツアー 他	-
11月	燕三条地域のローカルフードの試食会 他	約150人
12月	2013年度グッドデザイン賞 受賞商品展 他	-
1月	タイの伝統工芸カービング体験教室 他	13人
3月	ひなまつりキャンドル作り体験教室	15組

④ 燕三条Wingで展示販売する高品質な商品を、全国の自治体等が参加する通販サイトに出品して、広域的で継続的な販路開拓を行った。

- ・ JAPAN satisfaction guaranteedサイトへの参加
(フェイスブックを利用した「FB良品」から、販売形態等を変更)

(4) 燕三条ブランド販路開拓事業

(収入決算額:18,242,138円、支出決算額:17,281,756円)

燕三条ブランドマーク使用認証製品やプロダクトグループで開発した製品を各種展示会に出展して、国内外に向けた情報発信によるブランドイメージの浸透と販路の開拓を図った。

① 東京インターナショナル・ギフト・ショー 春 2014

- ・ 期 間 : 平成26年2月5日(水)~7日(金)
- ・ 会 場 : 東京ビッグサイト
- ・ 来場者数 : 196,378人
- ・ 出展ブースのコンセプト:燕三条ブランドの基本コンセプト「organic lifestyle creations」

② FOOD EX JAPAN2014 第39回 国際食品・試飲展

- ・ 期 間 : 平成26年3月4日(火)~7日(金)
- ・ 会 場 : 幕張メッセ
- ・ 来場者数 : 75,766人
- ・ 出展ブースのコンセプト:三条産農産物・加工品の提案及び「畑の朝カフェ」プロジェクト

③ アンビエンテ・メッセ・フランクフルト 2014

- ・ 期 間 : 平成26年2月7日(金)~11日(火)
- ・ 会 場 : ドイツ フランクフルト国際見本市会場
- ・ 来場者数 : 約144,000人
- ・ 出展ブースのコンセプト: 燕三条ブランドの基本コンセプト「organic lifestyle creations」
- ・ 展示会のパートナーカントリーである日本の文化や技術を見せる特設会場において鋳起銅器の制作実演を行った。

【4】企業人材育成事業

1 収支決算額

- 収入決算額:13,632,700円
(事業収入4,383,500円、市負担金9,249,200円)
- 支出決算額:12,653,415円

2 事業の成果

- **燕三条ものづくり大学事業(技術研修講座)**:新規事業として生産工程の流れを俯瞰的に把握・分析し、自社に最も適した生産システムを構築できる提案型生産技術者の養成を目指すため、7か月にわたる全21回の長期人材研修を実施した。
また、当地域のものづくり企業で必要となる「金属材料」、「図面の見方・描き方」、「溶接」の基礎技術講座、並びに「知財活用」、「軽金属材料」、「課題解決力強化」の応用技術講座(6講座)を開講した。
- **戦略的ものづくり経営力強化事業**:産業グローバル化に対応できるマネジメント能力を有する人材育成を進めるため、新潟大学大学院技術経営研究科(新潟大学 MOT)などから技術経営の専門家を招へいし、技術経営セミナーを開催した。
- **企業向けIT関連支援事業**:最新の企業支援情報をホームページ・メールマガジン(月2回)で発信したほか、地域企業に向けリサーチコアの活用方法を紹介した「リサーチコア活用ガイド」及び広報紙「リサーチコアレポート」を発行した。
また、燕三条地域企業での研修計画を立てる際に役立てていただくため、各支援機関で実施する企業向け各種研修を体系的に網羅した研修ガイドブックを作成し、各企業に配布した。

3 実施事業

(1) 燕三条ものづくり大学事業(技術研修講座)(担当:技術開発課)

(収入決算額:2,825,000円、支出決算額:2,381,210円)

地域企業の製造・開発部門において必要となる金属材料、溶接技術など基礎的技術の習得を図るための講習会を開催し、地域企業の技術力向上を進めた。

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
製造・開発企業のための提案型生産技術者養成研修	H25.6/27-12/12 (3h×21回)	10	8
金属材料基礎講座	H25.5/21-8/6 (2h×12回)	20	22
図面の見方・描き方入門講座	H25.8/20-9/17 (2h×9回)	20	23
溶接技術集中講座	H25.7/8-7/9 (3h×3回)	20	21
知財活用技術講座	H26.2/28-3/4 (3h×3回)	10	7
軽金属材料集中講座	H25.10/8-10/22 (3h×3回)	10	7
課題解決力強化講習会	H25.6/4-12/4 (3h×10回)	8	13
合計	(全7コース・61回・162時間)	98	101

(2) 戦略的ものづくり経営力強化事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:1,101,000円、支出決算額:840,208円)

新潟大学大学院技術経営研究科(新潟大学 MOT)などから技術、経営の専門家を招へいし、地域企

業の課題解決能力の向上及び新市場への事業展開を視野に入れた実践型営業戦略の立案に関するセミナーを開催した。

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
国際競争戦略講座	H25.9/25-11/6 (2h×4回)	10	7
品質マネジメントセミナー	H25.11/11-12/17 (2h×4回)	10	10
実践型営業力セミナー	H25.12/24-H26.1/23 (2h×3回)	10	16
合計	(全3コース・11回・22時間)	30	33

(3) 企業向けIT関連支援事業(担当:支援情報課)

(収入決算額:9,706,700円、支出決算額:9,431,997円)

① 広報活動の強化

- ・ 広報紙「リサーチコアレポート」の発行、拡大版「リサーチコア活用ガイド」(7月) 第4号(3月)
- ・ メールマガジンの発行
毎月2回年間24回配信、掲載情報件数 244件、3月末メールマガジン配信登録者数 644件
- ・ ビジネス情報等の提供
センターホームページから、企業向けの支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールを掲載した。
- ・ 燕三条地域の産業支援機関が実施する企業向け研修を体系的に網羅したガイドブックの作成
- ・ ビジネス情報掲載件数 362件

② 企業向け研修会の開催

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
初心者のための Adobe Illustrator 講座	H25.5/14-5/28 (2h×5回)	6	5
“仕事の効率を上げる” Excel 活用講座	H25.6/26-7/10 (2h×5回)	20	15
仕事に活かせる! 中級 Illustrator 講座	H25.7/9-7/23 (2h×5回)	6	5
初心者のための Adobe Illustrator 講座	H25.11/5-11/21 (2h×5回)	8	6
Power Point 基礎講座	H25.12/5-12/19 (2h×5回)	15	13
仕事に活かせる! 中級 Illustrator 講座	H26.1/16-1/30 (2h×5回)	6	5
初心者のための Adobe Illustrator 講座	H26.2/25-3/11 (2h×5回)	8	7
合計	(全7コース・35回・70時間)	69	56

◆ ITを活用した広報セミナーの開催

- ・ テーマ:「明日から実践! 利益を生み出すホームページ活用セミナー」
- ・ 日時:平成26年2月8日(土) 13:00~17:00
- ・ 講師:(株)環 代表取締役 江尻俊章 氏
明和エンジニアリング(株) 長澤亜紀子 氏
コスギス 代表 小杉聖 氏
(株)スーパーアド 代表取締役 渡辺正義 氏
(株)スマイルファーム 代表取締役 安達里枝 氏
- ・ 参加者数:111人

③ IT活用個別相談事業

ITを活用した社内事務作業の効率化などへの課題を解決するため、専門家を直接企業に派遣し、課

題解決に向けてのアドバイスを行った。

④ 情報研修室 OA 機器、研修用ビデオの貸出

貸出機器名	貸出件数	利用料金	備 考
パソコン	12 件	536,000 円	情報研修室、貸出し用 PC
プロジェクタ 他	12 件	32,500 円	

- 研修及び教育用ビデオテープの貸出し、貸出し件数 12 件、貸出し本数 42 本

【5】需要開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額:136, 228, 370円
(事業収入 135,323,370 円、前期繰越金905, 000円)
- 支出決算額:64, 248, 193円

2 事業の成果

- **展示・即売事業:**燕三条製品のさらなる普及を目的に、燕三条ブランドコーナー新設など物産館の一部リニューアルを行い、消費者ニーズに合わせた話題性のある販売品目の拡充を行った。また、自主イベントの開催や関係団体と連携した各種イベントへの積極的な参加を通して県内外の消費者に燕三条製品の良さをPRすることで産地製品の販路拡大に努めた。
誘客宣伝では県外への積極的な誘客宣伝活動を行うと同時に、大手旅行会社とタイアップした産業観光を推進し、さらには近隣県の商工団体等へ働きかけを行った結果、観光及び視察来館者に対し「ものづくりのまち燕三条」をPRできた。団体バスでの来館は減少傾向にあるものの、観光情報誌等への広告掲載の結果、個人やグループでの来館者が増えたことにより売上の増加につながった。
- **燕三条駅観光物産センター事業:**特に利用の多いビジネス客に対して無線インターネット利用環境やネット検索性パソコン使用の提供などにより、JR利用者を中心に来場者数が増加した。また、地元企業や商品がメディアに取り上げられる機会が多くなったため、燕三条がものづくりのまちであることへの認識が広まったことなどにより売り上げ増加につながった。

3 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額:115,163,990 円、支出決算額 48,484,597 円)

- ① 展示: 331 小間 収入 6,959,860 円
- ② 即売: 売上金額(264,728,727 円) 収入 99,608,577 円

【自主イベント等の内容】

イベント名称	開催期間	来場者数
GWフェア	H25.5/3~6(4日間)	約 13,140 人
お盆フェア	H25.8/14~18(5日間)	約 13,670 人
年末刃物フェア	H25.12/6~8(3日間)	約 7,797 人
観光バス来館	通年	約 1,105 台

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(事業収入:21,064,380 円、支出決算額:15,763,596 円)

- ① 展示: 168小間 収入 2,508,000 円
- ② 即売: 売上金額 51,201,526 円 収入 18,001,398 円

【6】収益事業

1 収支決算額

- 収入決算額:128,927,281円
(事業収入128,927,281円)
- 支出決算額:73,715,005円

2 事業の成果

- **他地域連携販売事業:**年末刃物フェアで多くの集客を図るため、他地域地場産センターや県内外の食品加工製造業者の販売出展を行い、燕三条製品の効果的なPRと販売の拡大に努めた。
- **貸館事業:**無線 LAN を整備し利用者の利便性を向上と、新規の顧客獲得のために直接訪問やDM発送による営業活動を行うことで会場使用の増加を図った。また、お客様と綿密な打合せをすることでイベントなどの成功を支援し、顧客満足度の高いサービスを提供するように努めた。
- **レストラン運営事業:**スポーツイベント参加団体への飲食提供が無かったことや多目的大ホールでの飲食利用が減少したため昨年度に比べると売り上げは減少したが、積極的に営業することで店内貸切や館内会場でのパーティ売上は増加した。また、地産地消をコンセプトに地元食材を使用したランチメニューを提供するとともに、パーティで提供する食材にもこだわり、食を通して燕三条のイメージを発信した。

3 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額 4,005,422 円、支出決算額 1,700,280 円)

地域外取扱商品販売金額	9,317,521 円
他地場産センター商品販売金額	3,489,495 円

(2) 貸館事業

(収入決算額 69,042,882 円、支出決算額 12,860,545 円)

【会場利用状況】

- ◆ 施設利用者数:231,291名(前年度 211,644名)
- ◆ 施設利用状況(金額・利用率)

施設名	25年度	24年度
メッセピア	53,306,482 円	50,631,972 円
1F:多目的大ホール	31.7%	31.2%
3F:中会議室	38.9%	38.0%
4F:大会議室	35.5%	40.8%
4F:特別会議室	7.2%	7.4%
4F:小会議室(和室)	29.6%	30.8%
5F:総合研修室	42.1%	40.7%
5F:ミーティングルーム	47.3%	50.2%
リサーチコア	16,281,450 円	15,968,300 円
6F:研修室	29.2%	30.1%
7F:マルチメディアホール	26.4%	27.5%

(3) レストラン運営事業

(収入決算額 55,878,977 円、支出決算額 59,154,180 円)

【レストラン収入決算額の推移】

年度	収入決算額
平成 25 年度	55,878,977 円
平成 24 年度	67,237,966 円
平成 23 年度	57,351,545 円

附 属 明 細 書

平成25年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事項はありません。